

経過を観察

検査充実の医療機関も

宇都宮セントラルクリニック（宇都宮市）は今春、ごく小さな乳

宇都宮セントラルクリニックが導入した乳房専用のPET装置。正確な画像診断が可能という



がんの発見が可能な乳房専用PET検査装置（PEM）を導入した。通常の検診でも使用するが、大きな目的は手術後の経過観察。佐

藤俊彦^{とうとしひこ}理事は「新規の乳がん患者が増える中、医療機関はどこも術後の外来に手が回らないのが現状。フォロ—アップの機能を果た

せれば」と説明する。PEMは米国のナビスキャン製で、1・5ミリの程度の病変が鮮明に映るのが特長。がん細胞特有の糖代謝も画像化できるため、悪性か良性かの判断もしやすいという。

10年間という長期間の経過観察が必要な乳がん。「従来のPETと組み合わせることで、精度の高い検査が可能になる」としている。